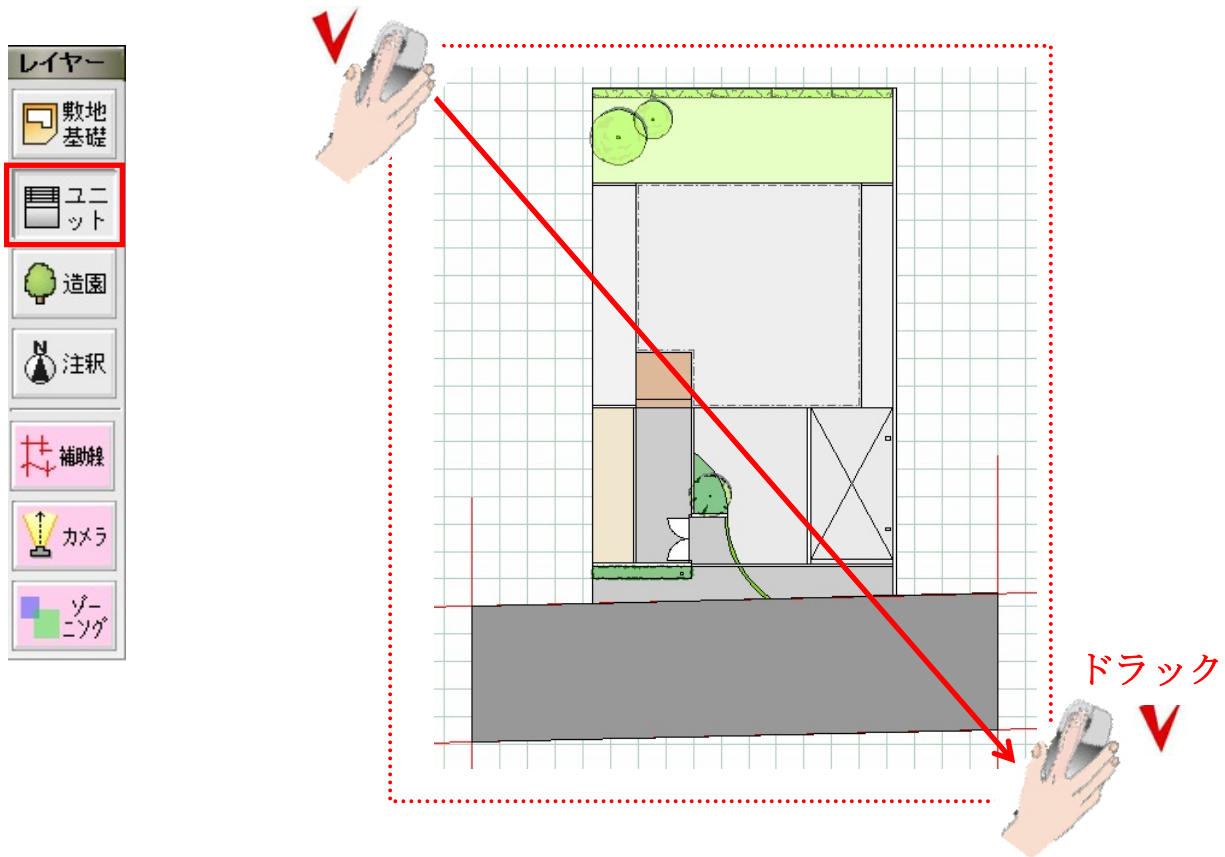
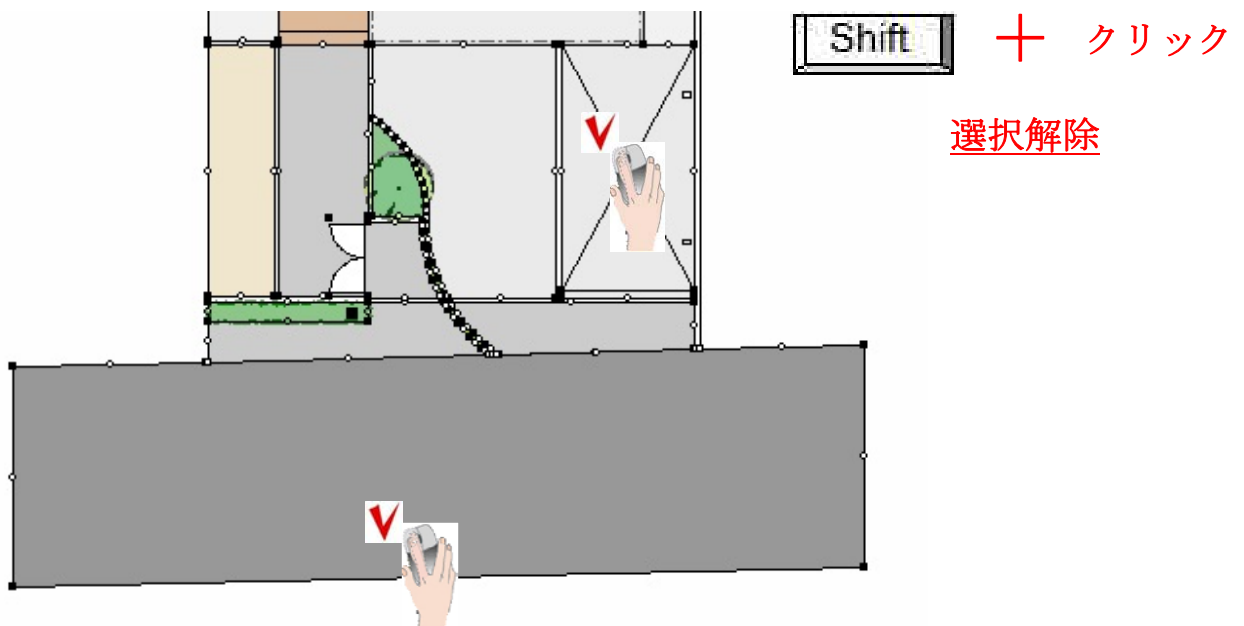


## 平面図カラー仕上げ 【プレゼン用平面仕上げ】

① ユニットレイヤーで平面図の敷地範囲内をドラックで囲い、選択します。



② 平面図では表示させない、カーポートや道路などを“Shift キー + クリック”で選択から外します。



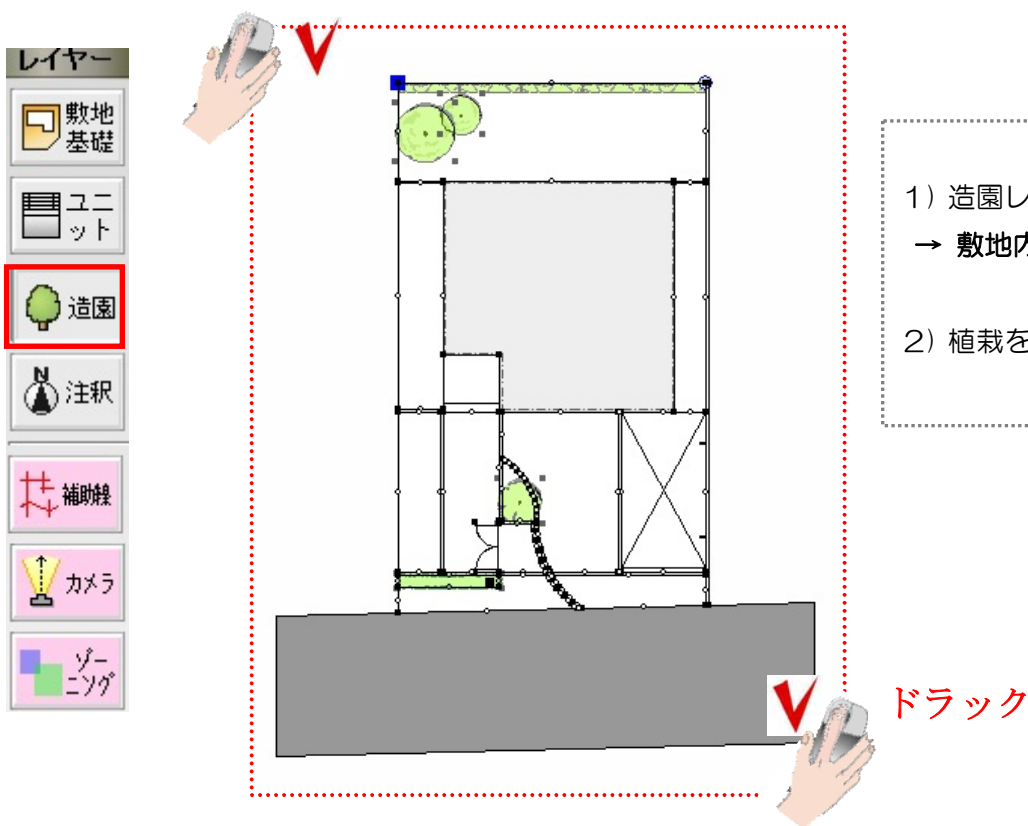
※ ユニットレイヤーに建物を配置した場合は、建物も選択から外します。

③ 平面カラーパレットからユニットレイヤーの図形をモノクロに変換する。



- 1) 表示 → 平面カラーパレットを選択
- 2) A-1 白色の上で、右クリック
- 3) **すべてのオブジェクトに適用**を選択

④ 造園レイヤーの植栽を選択してモノクロに変換する。



- 1) 造園レイヤーで植栽をドラック  
→ 敷地内の植栽をすべて選択
- 2) 植栽をモノクロに変換

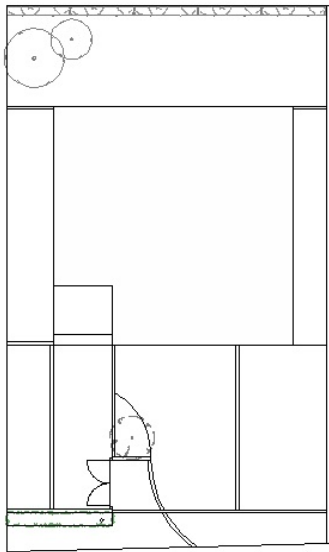
Q 植栽をモノクロ表示にするには？



造園レイヤーにて、画面右下の**面なし設定**にチェックを入れると、植栽がモノクロ表示に変わります。

※ 乗用車や人物などの添景物を配置している場合は、shift キー+クリックで選択解除

⑤ 選択表示する。



選択表示状態

1) 表示 → 選択されたものだけ表示 を選択

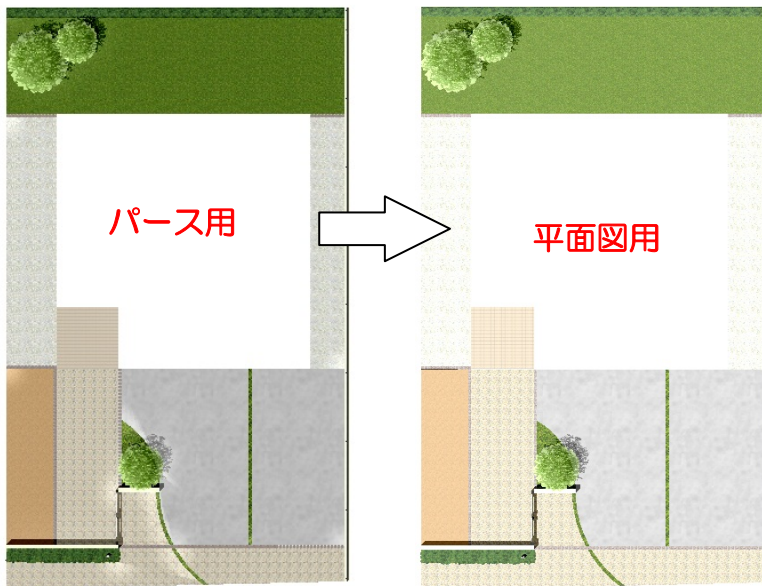
2) カメラレイヤで “平面図カメラ” を選択



3) eE-Painter を起動



⑥ eE-Painter の起動 → 効果設定の切り替え



1) パース用の効果設定を  
→ 平面図影あり に変更。



2) 再描画をクリック



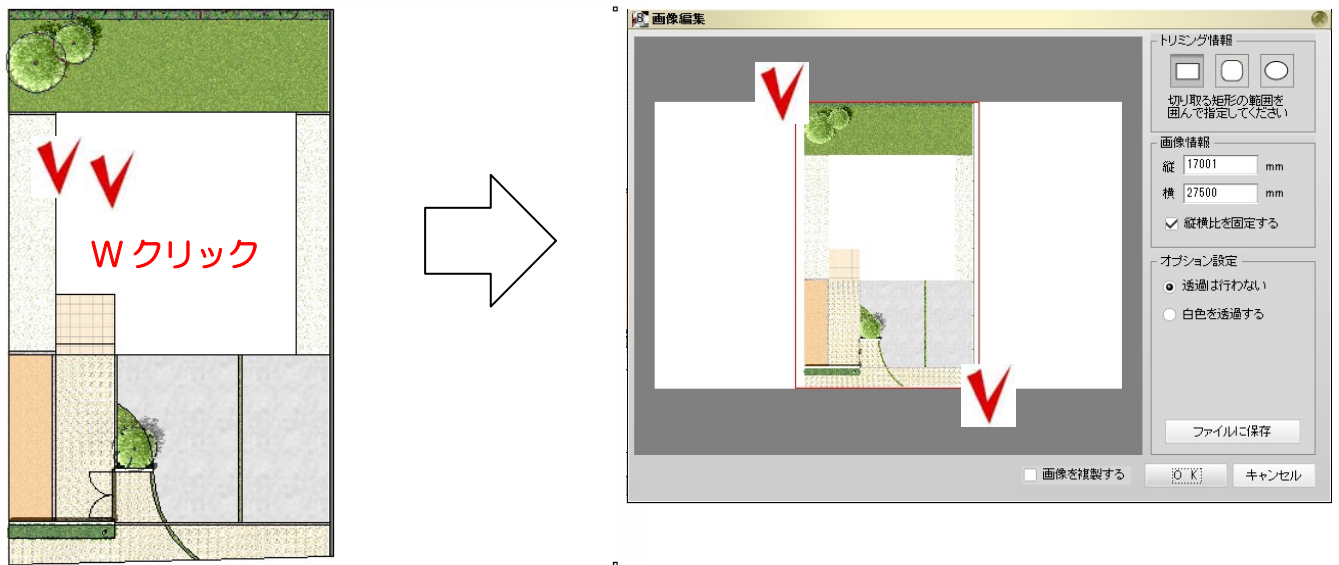
効果設定が、シンプルなイメージだと、影の付け方や明るさが平面図に合わない為、平面図影ありが一番色が合います。

図面上へ配置

図面上へ配置ボタンを押して、レンダリングします。

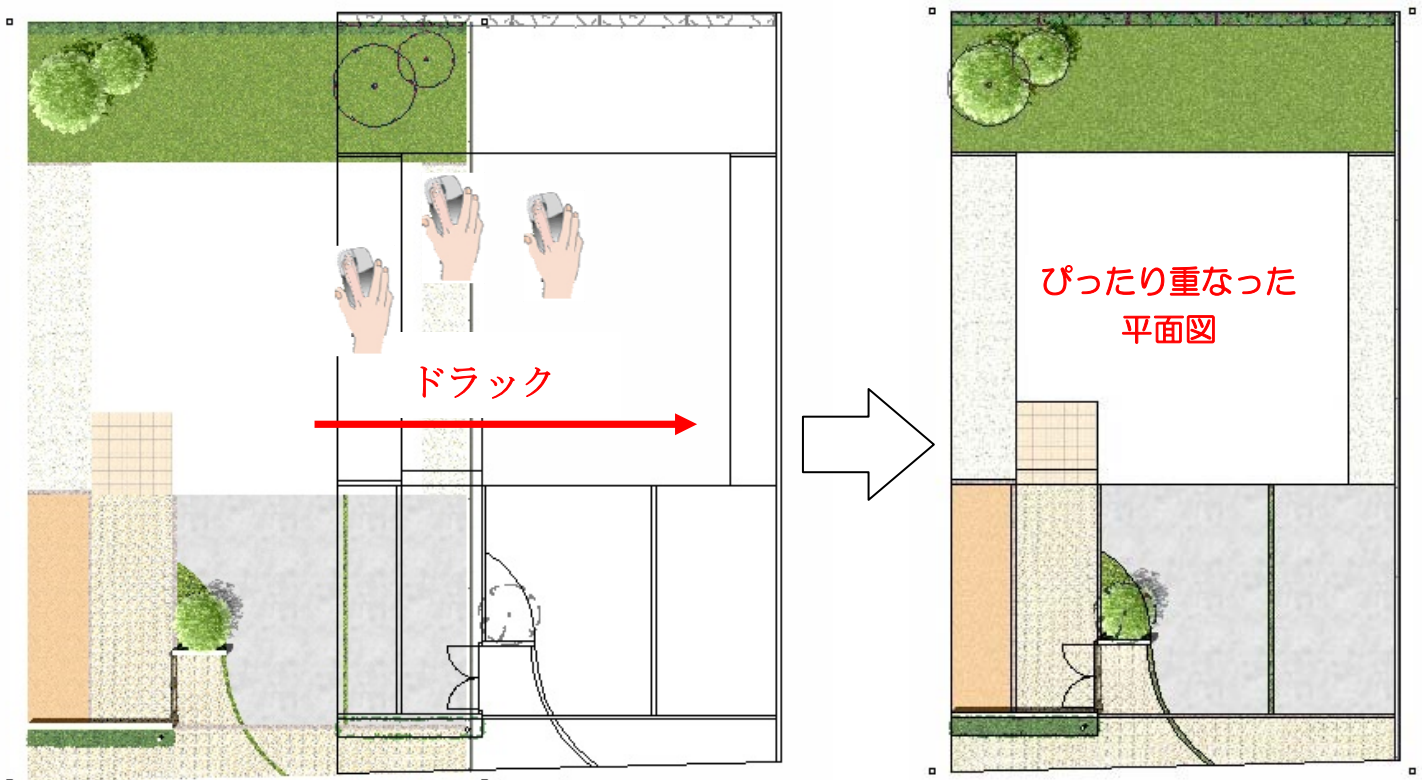
レンダリング後、画像は元の平面図とピッタリ重なって図面に配置されます。

⑦ 白色の余白をトリミングする。



図面上に配置した際に、平面図の上下左右にできる無駄な余白をトリミングすることで、データ量を軽くすることができます。画像の上をダブルクリックすると、画像編集 ウィンドウが出ますので、必要最小限の範囲をドラックし、OK ボタンをクリックすると、余白を取り除いた平面画像に変わります。

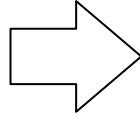
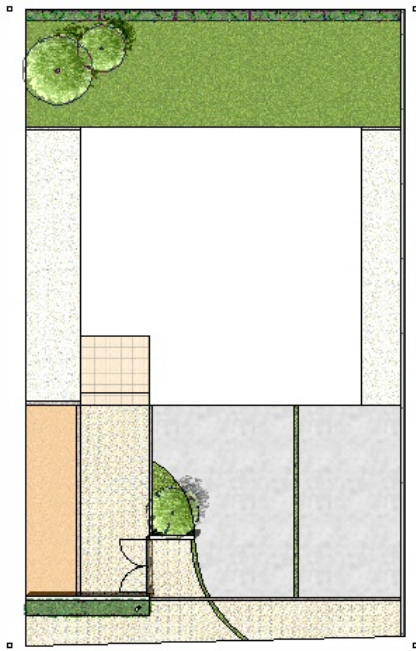
⑧ トリミングした画像と平面図を重ねる



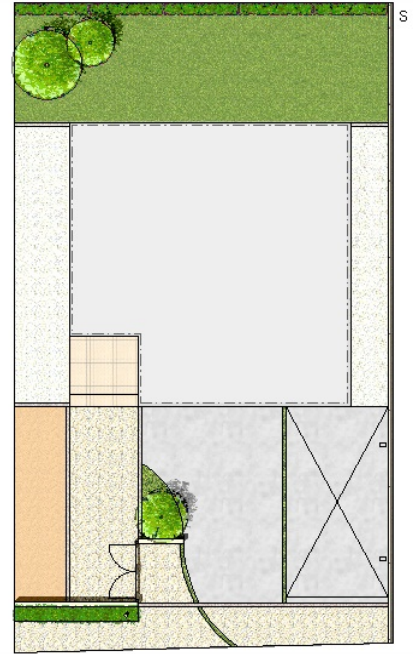
画像を移動し平面図と合わせる



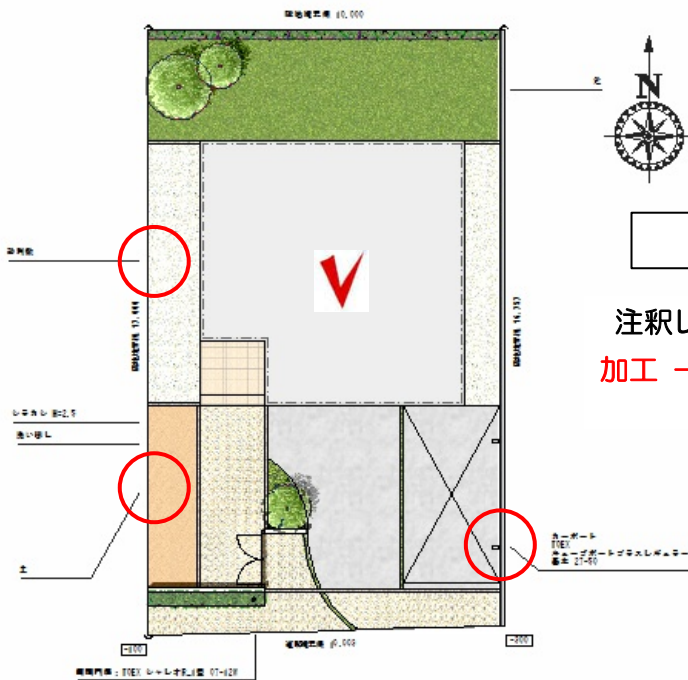
⑨ 選択表示を解除する。



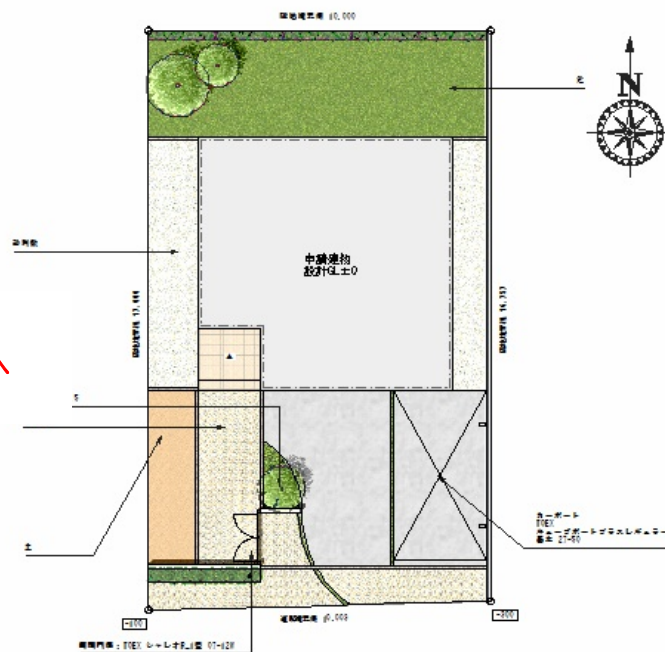
表示 → 選択表示を解除



⑩ 平面図レンダリング画像の前後関係を入れ替える。



注釈線が平面図に隠れてしまう・・・



完成

注釈レイヤで、注釈線や文字より、平面レンダリング画像が上であり、文字を隠してしまうような場合には、前後を入れ替えて調整する必要があります。平面画像をクリックし、加工 → 最後へ を選び、画像を後ろ側に移動します。